

令和7年度学校評価報告書

令和8年(2026年)3月19日

北海道教育委員会教育長 様

北海道札幌南陵高等学校長 小川 政博 印

次のとおり令和7年度の学校評価について報告します。

1 本年度の重点目標

- 自立と共生の精神を培い、社会で「生き抜く力」を涵養することを目指す
- (1) 基本的な生活習慣を身に付け、思いやりがあり優しく礼儀正しい生徒を育てる(挨拶と掃除)
 - (2) 生徒の学習実態を的確に把握し、学力伸長の取り組みを進める(確かな学力)
 - (3) 生徒が進路活動について、主体的・協働的に取り組み社会人として自立できるようにする(親身な進路指導)
 - (4) 自他の生命・人権を尊重し、いじめを予防する取組を進める(優しさと思いやり)

2 自己評価結果・学校関係者評価結果の概要と今後の改善方策

評価項目	自己評価の結果	学校関係者評価の結果
学校経営	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全講話の他、一日6時間をとおして、生徒へ自他の生命を尊重する姿勢を身につけるため、「南陵いのちの授業」を実施し、非常に効果があった。 ・学校祭でPTA企画のバザーを実施し、多くの会員の協力を得るとともに、花壇整備等も実施するなどPTA活動が活発に行われた。 ・祭りやボランティア活動の参加、PTAだより・学校便りの地域配布等を行い、地域住民の教育活動の理解を深めることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「南陵いのちの授業」は地域の人材を活かしたもので、生徒に命の大切さを伝える授業をなっていて大変良い取組である。 ・ポストコロナ禍として、地域や保護者との交流が復活し、PTA活動が活発に行われ、保健体育科や家庭科においても地域との授業交流が行われているのは大変良い。 ・藤野地区の祭りや「雪あかりの小路」での協力を感謝している。学校だよりの地域配布も是非継続してほしい。
改善方策	今後も地域と連携し、地域や保護者と密接に結びつけた教育活動の積極的な推進を行う。	
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力を身に付けさせるためICT機器を活用した教育活動および観点別の評価方法の充実に向け校内研修を行った。 ・個別最適な学びと協働的な学びを実現する授業改善に努めた。 ・総合的な探究の時間で、藤野地区の課題を探り、高齢者の抱える問題に焦点をあてた探究活動を行い、解決方法を提案した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・一人一台端末による効果的な授業が実践されていることを、授業参観を通して理解した。 ・生徒全員が毎日の朝読書を行っており、そのことがしっかりした態度で授業へ向かうことができているのは大変良い。 ・探究活動をとおして、地域との関わり及び高齢者の抱える問題にアプローチする姿勢は素晴らしいので継続してほしい。
改善方策	各教科の授業や部活動を近隣の中学校の教員や保護者に案内し公開する。ICTを活用した授業実践の交流を持続する。	
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・迅速かつ丁寧に対応することができる学校の組織的な危機管理体制の強化に努めた。 ・朝の玄関指導、SHRの頭髪、服装の指導、全体的な生徒の声かけにより、基本的な生活習慣を身に付けることができた。 ・生徒の健康面の配慮及び保護者の負担の軽減を目的に、生徒の昼食の発注配達サービスを9月から始め、一定の利用者があった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・危機管理に対する学校の組織的な対応の強化に向けて取り組んでいる。 ・「いじめ防止」に向けて生徒にアンケートを年3回行い、かつ生徒の人間関係や様子を見るなど学校全体で取り組んでいる。 ・昼食の発注配達サービスの利用している家庭の満足度は高いというアンケート結果が出ているのは良い。
改善方策	今後、より一層の個人面談・教育相談・特別支援教育の充実を図り、安全・安心な学校づくりを行う。	
進路指導	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と連携したインターンシップを充実させ個々の進路実現につなげる取組ができた。 ・3年間を見通したキャリア教育を計画し、主体的・協働的に取り組み、進路実現できる支援体制を構築し、卒業生はほぼ全員進路希望に合格することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も、学校、家庭、地域と連携したキャリア教育の推進を期待する。 ・今後も行政や地域の人材を活用しながら生徒の主体的進路決定能力の育成をお願いしたい。
改善方策	地域の特性や教育資源およびICT等をより一層効果的に活用したキャリア教育を推進していく。	
特別活動	<ul style="list-style-type: none"> ・各種の行事をとおして、生徒の自主的・実践的な態度を育成した。 ・部活動や行事、ボランティア活動の活性化に向けて取り組み、部活動では写真部が高文連の全国大会出場を果たすなど活躍した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の幼稚園や小学校、児童会館(南陵寺子屋隊)等、異校種との交流が進んだ。 ・部活動や行事、ボランティア活動の活性化・活発化に向けた取り組みを今後も期待する。
改善方策	異校種との連携による教育活動を推進する。	
公表方法	学校評価の結果について、本校ホームページに掲載する。	

3 添付資料

○令和7年度学校評価アンケート集計結果(生徒・保護者・教員)